

- 皆さん、おはようございます。
- 新学期が始まり、皆さんの学校生活を制限しながらもなんとか学校を継続させて行きたいと考えていましたが、明日21日から5月6日まで休校としなければならなくなりました。
- 学校は勉強をし、部活動をし、友人と語り合いをする場です。
- その場が失われてしまうのはとても残念です。
- われわれ人間は、何か目標があるから今日を生きることができるのだと思います。
- また、今日、嬉しいことや感動することがあるからこそ、明日も明後日も生きる活力が湧いてくるものだと思います。
- しかし、新型コロナウイルスの蔓延と言っていい状況の中で、多くの人が感染への不安や終わりの見えないことに苛立ちを感じています。
- 大変厳しい状況ですが、今の状況を耐え前に進んでいくしかありません。
- ここは、物事を後ろ向きにとらえるのではなく前向きにとらえていきましょう。
- 例えば、明日からは自分で使える時間がいっぱいあるとか読書をたくさんできるなどと考えてみたらどうでしょうか。
- 新型コロナウイルスが蔓延したことにより、身近な活きた勉強の材料が増えたと考えることもできます。
- 例えば、**pandemic** という言葉を毎日聞いていると思います。
- 東高の皆さんならわかっていると思いますが、「世界的に流行する病気」のことです。
- **pandemic** の英語の綴りを辞書で確認してみるのもいいと思います。
- 辞書で確認すると **endemic** という言葉も出てくるはずです。
- **endemic** は「地方で（又は一部の地域で）流行っている病気」のことです。
- 3日前に緊急事態が宣言されましたが、「緊急事態を宣言する」は **declare a state of emergency** です。
- このように追っていくと、5月6日までにかかなりの英単語を覚えることができます。しかも、実用的な活きた英語です。
- また、新型コロナウイルス関係の新聞記事を読めば、グローバリズム、ナショナリズム、協調主義などの言葉が頻繁に出てきます。
- 「緊急事態宣言が出されたが、日本のような民主主義の国家では個人の自由を制限することは難しい」などと言われています。皆さん、このことについて考えたことはありますか。
- 是非、今、我々が住むこの日本について、さらには世界について考えてみてください。大学の小論文対策にもつながるのではないのでしょうか。
- この休校期間中、残念で辛い思いをしているのは本校のクラス担任の先生であり、教科担任の先生であり、部活動の顧問の先生です。
- 本校の先生方は全員が、5月7日から皆さんとともにいつもの活気ある福島東高校を取り戻したいと考えていますので、この難局を乗り越えていきましょう。